令和８年度第 61 回群馬県高等学校総合体育大会

令和８年度第 79 回群馬県高等学校陸上競技選手権大会
兼令和８年度第 79 回関東高等学校陸上競技大会県予選会

１．日　　時　令和８年５月１５日（金）　午前　８時４５分　開始式
午前　９時３０分　競技開始
１６日（土）　午前　９時００分　競技開始
１７日（日）　午前　９時００分　競技開始
１８日（月）　午前　９時００分　競技開始

２．場　　所　正田醤油スタジアム群馬（群馬県立敷島公園陸上競技場）

３．競技種目

	男　子	女　子
１日目	400m　1500m 4×100mR（予・準） 走幅跳　砲丸投 八種（100m 走幅跳 砲丸投 400m）	400m　1500m（予） 5000mW　4×100mR（予・準） 走高跳　やり投
２日目	100m　5000m（TR 決） 400mH（予・準）　4×100mR（決） 棒高跳　ハンマー投 八種(110mH やり投 走高跳 1500m)	100m　800m（予） 1500m（決）　400mH（予・準） 4×100mR（決） 棒高跳　円盤投
３日目	200m　800m（予・準） 5000mW　400mH（決） 3000mSC（予）　4×400mR（予） 走高跳　やり投	200m　800m（準・決） 400mH（決） 走幅跳　ハンマー投 七種（100mH 走高跳 砲丸投 200m）
４日目	800m（決）　110mH 3000mSC（決）　4×400mR（準・決） 三段跳　円盤投	3000m（TR 決）　100mH 4×400mR 三段跳　砲丸投 七種（走幅跳 やり投 800m）

※男女 400mH は参加選手数により、準決勝を行わない場合は、準決勝の日に決勝を行う場合がある。

４．引率・監督　(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。（但し、公立学校にあっては教員とする。）また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第７８条の２に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は県高体連会長に事前に届け出ること。
(2) 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(ｽﾎﾟｰﾂ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

５．参加資格　(1) 選手は、学校教育法第１条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
(2) 選手は、群馬県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技要項により群馬県高等学校体育大会参加の資格を得た者に限る。
(3) 年齢は平成 19 年(2007 年)４月２日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技３回までとし、同一学年での出場は１回限りとする。
(4) チームの編成は、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームよる大会参加を認める。
(5) 転校・転学後６ヵ月未満の者は参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。但し、一家転住などやむを得ない場合は県高体連会長の認可があればこの限りでない。
(6) 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。
(7) 公益財団法人日本陸上競技連盟に登録された競技者であること。
(8) 参加資格の特例
ア.上記(1)(2)に定める生徒以外で、(3)～(7)の大会参加資格を満たし且つ、県高体連が推薦する生徒を別途に定める規定に従い大会参加を認める。
イ.上記(3)については、学年区別を設けない課程に在籍する生徒の参加は、

同一競技３回限りとする。

［大会参加資格の別途に定める規定］

１．学校教育法７２条、１１５条、１２４条及び１３４条の学校に在籍し県高体連の大会に参加を認められた生徒であること。

２．以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加資格を認める条件

ア．（公財）全国高体連の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ．参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限とも高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。

ウ．各学校にあっては、県高体連の予選会から出場を認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。

エ．各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べ著しく均衡を失していず、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

ア．群馬県高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。

イ．大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ．大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

６．参加制限

(1) 個人種目の本大会参加は、１種目につき１校３名以内とする。

(2) 男女 100m･200m･混成競技、男子 400m、男子走幅跳、男子やり投については、下記の参加標準記録を突破した選手とする。

(3) 上記(2)の種目において、該当する選手がいない場合でも、混成を除き１種目につき１校１名だけの参加を認める。

(4) リレーは１校１チームとし、６名以内とする。

(5) 同一人の参加種目数は、リレーを除く３種目以内とする。

(6) 外国人留学生については１校４名以内とし、１種目１校１名以内(この種目にはリレーも含む)とする。ただし、リレーに出場する場合には、個人種目と合わせて１校最大４種目とする。

７．競技方法

(1) 2026 年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則に準拠する。

(2) 令和８年度県高等学校陸上競技選手権者(個人)を決定するものとする。

(3) 令和８年度第 79 回関東高等学校対校陸上競技選手権大会（茨城）の予選を兼ねる。

(4) 本大会における、男女混成競技、女子棒高跳、女子三段跳、女子ハンマー投は４位まで、男女競歩競技は５位まで、その他の種目は６位までの入賞者が上記大会の出場権を得る。ただし、男女走高跳、男子棒高跳については６位までの入賞者６名、女子棒高跳については４位までの入賞者４名とする。

(5) 総合体育大会競技として各種目とも、１位６点……６位１点とし採点し、総合得点で学校順位を決める。

(6) 走高跳・棒高跳において同順位の者が出た場合は、関東大会出場権を決めるジャンプオフを実施する。

８．表　　彰

(1) 各種目の１～３位には賞状、４～６位には専門部賞状を、また優勝者は高等学校選手権メダルを授与する。

(2) 総合優勝校には優勝楯・優勝旗、６位までの入賞校には賞状を授与する。

(3) 前年度優勝校は、開会式の際に優勝旗の返還を行うので、必ず優勝楯・優勝旗を持参すること。

９．申込方法

(1) 当該校の校長の責任において、日本陸連エントリーシステムで４月１７日（火）から４月２１日（火）17:00 までに申し込むこと。

(2) 選手登録は、４月１７日(金)17:00 までとする。

10. 附　　則　(1) フィールド種目については、計測ライン・予選通過ラインを設けることがある。ただし、予選通過者が 12 名に満たない場合は、上位から 12 名を選んで決勝出場の資格を与える。

(2) 競歩競技において、周回を残し、制限時間（男子-30'00″　女子-32'00″）を超えた者については、競技をうち切るものとする。

(3) 走高跳は男子が 1m70、女子が 1m40 から、棒高跳は男子が 3m50、女子が 2m30 から競技を開始する。また、三段跳は男子が 12m、女子が 9m の踏切板を使用する。なお、混成競技のバーの揚げ方は、競技開始後男子が 1m70 から、女子が 1m45 から 3cm ずつ上げる。

参　加　標　準　記　録

男　　子　**１００ｍ……１２”００**　　**２００ｍ……２４”８０**
４００ｍ……５６”００　　**走 幅 跳……　５ｍ９０**
や り 投……３５ｍ００

☆ただし、やり投は、２・３年生のみに適用し、１年生は各校１名まで参加を認める。

女　　子　**１００ｍ……１４”３０**　　**２００ｍ……３０”００**

混成競技は下記の種目において、１種目以上公認記録で到達した者とする。

八種競技　**１００ｍ－１２″００　４００ｍ－５６″００　１５００ｍ－４'３０″００**
１１０ｍＨ－１８″５０(中学110mH-17″50)　走高跳－１ｍ６０
走幅跳－５ｍ８０　砲丸投－９ｍ００(5kg-10m00)
やり投－３５ｍ００　八種競技　３６００点（四種１８００点）

七種競技　**２００ｍ－２８″００　８００ｍ－２'３０″００**
１００ｍＨ－１８″５０(中学100mH-17″50)　走高跳－１ｍ３５
走幅跳－４ｍ６０　砲丸投－８ｍ００(2.72kg-10m00)
やり投－２６ｍ００　七種競技　２５００点（四種１６００点）
☆ ただし（ ）は１年生に限る

※ 上記参加標準記録を**公認記録**で突破していること。
※ 公認記録には必ず年度・大会名を記入し、電気計時の 100 分の 1 秒単位にすること。
※ フィールド種目についても記録を記入すること。